

進んですか?

マイナンバー制度の開始に向けた準備

▼いよいよ2015年10月から運用が始まるマイナンバー制度。

企業にもマイナンバー制度の施行に伴う特定個人情報の取り扱いについて、個人情報より厳密な管理対策が求められています。万一個人番号や特定個人情報が漏えいした場合、個人情報保護法よりも厳しい罰則が適用されることになります。漏えいを防止するために企業が準備すべき作業は様々ありますが、プリンタ・複合機のセキュリティ対策も重要なポイントです。セキュリティ対策がされていないと、故意、過失にかかわらず、放置や持ち去りによる漏えいの可能性が高まることになります。

プリンタ・複合機のセキュリティ対策はOKIのCOREFIDOで!

▼セキュアな環境で印刷物の出力を管理

OKIの印刷管理ユーティリティ「smart PrintSuperVision」とICカード認証を組み合わせることにより、セキュアな印刷環境を構築。部門や業務ごとに印刷を制御・管理でき、ICカード認証によって機密文書も目の前で確実に出力することが可能となります。

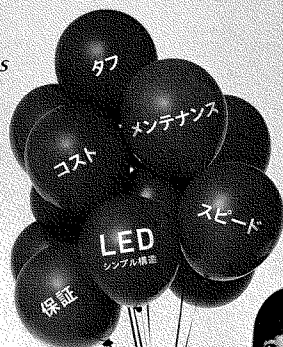
▼効率的なプリンタ・複合機の配置を実現

OKIのプリンタは、小型、高速で低価格。総務や経理など、個人情報を扱う部門ごとにきめ細かく配置することができるため、印刷物の放置や持ち去りを防ぐことができます。さらに、OKIのCOREFIDO2なら「5年間無償保証」+「メンテナンス品5年間無償提供」。だから、効率的な出力環境を維持できます。

勘定奉行i8での動作確認済み

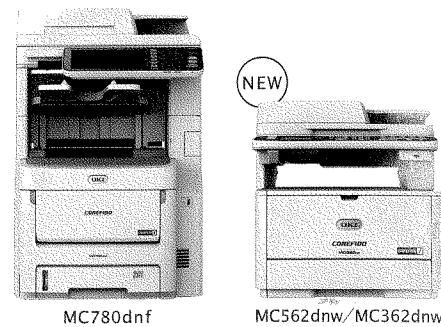
すでに勘定奉行+OKIの複合機をお使いのお客様からは、「基幹システムとも連携して、3種類の伝票を多段トレイから高速印刷できて便利。複合機だから伝票の電子ファイル化にも使えて、重宝してます!」等の声をいただいています。

OKI Open up your dreams



結局、これがベストの効率!

オフィスのプリンタ選びは、妥協できないことばかり。美しさ、スピード、操作性、丈夫さ、保守点検の手間も…。そこで、あらゆる要求に応えるLEDのシンプル構造と、OKI独自の5年間無償保証とメンテナンス品の5年間無償提供。全部まとめて、COREFIDOシリーズにお任せください。



さらに効率を高める、無線LAN標準対応モデル MC562dnw/MC362dnw 新登場。 **COREFIDO 2**



ビジネスLEDプリンタ・複合機 **COREFIDO** コアフィド

※5年間無償保証、メンテナンス品5年間無償提供の内容、その他詳細についてはOKIデータホームページ、もしくはカタログをご覧ください。

◎お客様相談センター/0120-854-632(携帯電話からは0570-055-654) <受付時間>月~金曜日9:00~20:00、土曜日9:00~17:00(祝日および年末年始等を除く) ※【ご注意】「5年間無償保証」・「メンテナンス品5年間無償提供」は、弊社指定の消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラム、イメージドラムユニット、EPTトナーカートリッジ、スタイルカートリッジ)のみを継続してご使用いただくことでご利用できます。弊社指定の消耗品のみを本製品のご購入日から継続してご使用いただけない場合、無償保証期間はご購入日から起算して6ヶ月間となり、期間満了後に発生した故障は全て有償修理となります。 **株式会社 OKI データ** お客様登録(必須)時に、サービスを「利用する」・「利用しない」は選択できます。 www.okidata.co.jp

CONTENTS

2015年4月1日発行(通巻第73号)
発行:株式会社オービックビジネスコンサルタント

奉行EXPRESS

2015 SPRING

OBCの公式Facebookはじまりました!!
OBC公式 Facebookでは、業務に関するトピック、OBCが開催するセミナーやイベント情報、奉行シリーズに関する小ネタやOBC社員の仕事風景などをお届けします。皆様からの「いいね!」や「フォロー」をお待ちしております!

02 第一特集

2015年度の人事労務部門で新たに業務が発生
マイナンバー制度・ストレスチェック制度のスタートに向けた業務内容の確認

10 第二特集

これからのビジネスを支えるのはグローバルな真の情報基盤構築
現地の財務会計情報を無駄なく正確にタイムリーに把握しさらに進む海外進出を成功に導く!

14

ASOSの会計ひろば
蜂屋浩一/高尾英一 朝日税理士法人グループ(東京)

中綴じ別冊ファイル 保存版 奉行ワンポイント講座

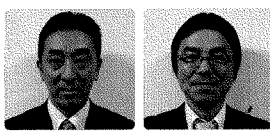
18

奉行ユーザー サーバ利用実態調査2015 結果発表

22

OBCから総務の皆様にお届けする業務改善ガイドブックが登場!
『人に関わる総務業務を改善する30の方法』

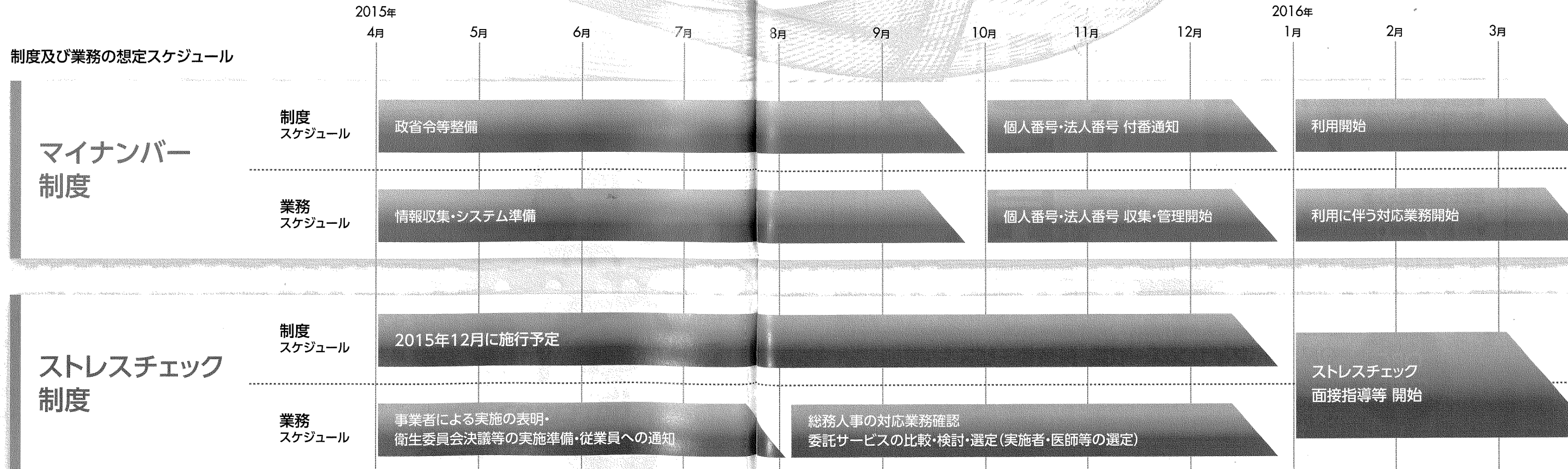
- 23 仕事の合間に一息 頭のストレッチ(熟語架橋パズル)
- 24 いよいよ待たなし! 「Windows Server 2003」の公式サポートは2015年7月に完全終了します。
- 26 BOOK&FILM
- 28 基本を極める ビジネスの心得 体調が悪くなった時の「早退時のマナー」
- 29 ケーススタディで考える オフィスの日本語SOS 同じ種類の敬語が重なる二重敬語
- 30 オフィス3分間シリーズ 相撲健康体操編~足腰の基礎・四股~
- 31 社会人の様々な場面を食で応援 気合メシ!
- NEW 32 教えて! あなたの自己管理メソッド 弁護士編
- 33 OMSS CLUB 他



2015年度の人事労務部門で新たに業務が発生

マイナンバー制度・ストレスチェック制度の スタートに向けた業務内容の確認

2015年度は人事労務業務に「マイナンバー制度」と「ストレスチェック制度」という2つの大きな制度対応が加わります。マイナンバーは2015年10月から付番・通知が始まり、利用は2016年1月にスタート、ストレスチェック義務化は2015年12月に施行されます。業務開始まで半年以上の時間がありますが、社内外に向けた案内のリリースやルール作り、システム対応の確認や必要書類の準備など、日々の業務と並行して様々なタスクが加わります。抜け・もれ・チェックミスなく業務に取りかかれるよう、業務内容をしっかり押さえておきましょう。



「マイナンバー制度」と「ストレスチェック制度」の概要とポイントのおさらい

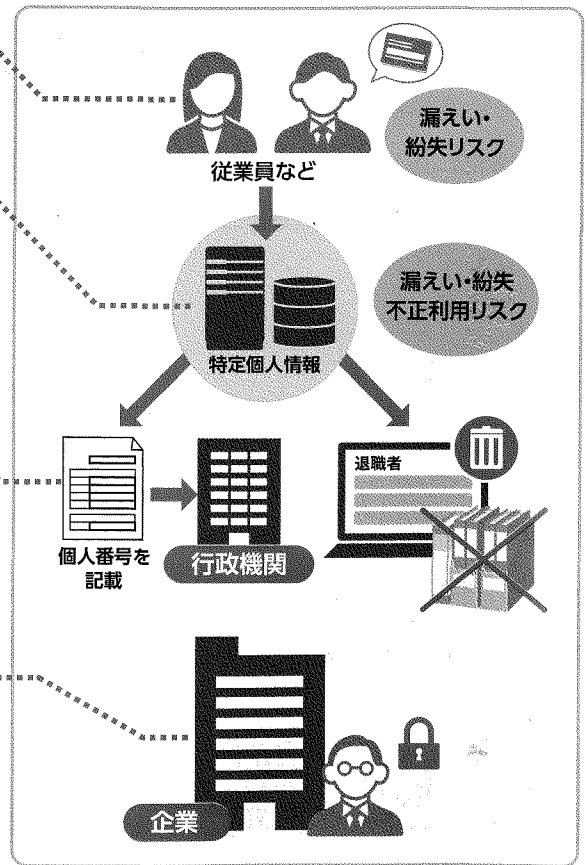


マイナンバー制度

●概要 マイナンバー制度とは、マイナンバー（住民票を持つすべての人に付番される個人固有の番号）を利用して税と社会保障を紐づけし、手続きの簡素化・迅速化を図り、より公平で公正な社会を目指す制度です。民間企業には法人番号が付番されます。

対象企業	すべての企業 ※法人番号は民間企業のみ付番されます。
主な対応業務部署	人事部・総務部
時期	2015年10月～ 通知・付番開始 2016年1月～ 利用開始

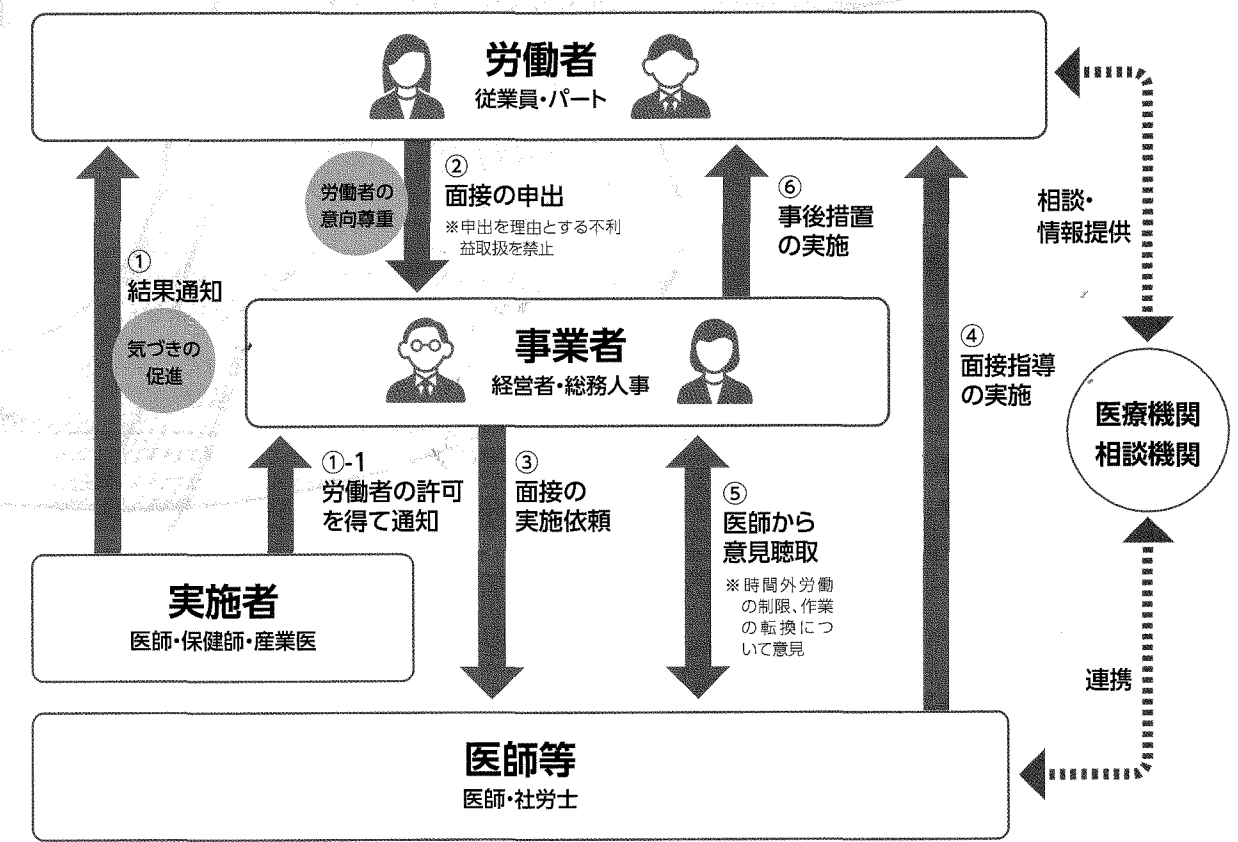
- 取得**
全従業員から個人番号を取得し、本人確認が必要
●従業員本人の個人番号の取得、確認 ●扶養親族の個人番号の取得、確認
- 保管**
個人番号が漏えい・紛失・不正利用されないように厳重な保管が必要
●保管場所のセキュリティの確保 ●保管記録の作成
- 利用** **提供** **廃棄**
社会保障と税の各種手続きの際、書類に個人番号の記載が必要
●源泉徴収票に記載、提出 ●雇用保険被保険者資格取得届に記載、提出
●健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届に記載、提出
不要になったデータ・書類等の廃棄が必要
●退職者、扶養から外れた扶養親族の個人番号削除
●個人番号が記載された帳票の廃棄
- 安全管理**
個人番号の漏えい、滅失及び毀損を防止するために適切な安全管理が必要
●組織的安全管理措置 ●人的安全管理措置
●物理的安全管理措置 ●技術的安全管理措置



ストレスチェック制度

●概要 事業者に対して、ストレスチェック制度（労働者の心理的な負担の程度を把握するための、医師、保健師等による検査の実施）が義務化されます。メンタルヘルスの一次予防を主な目的とする制度であると同時に、労働者のセルフケア、職場環境改善の促進という役割もなっています。

対象企業	50人以上の事業場を有する企業 ※従業員50人未満の事業場については当分の間努力義務とする。
主な対応業務部署	人事部・総務部
時期	2015年12月に施行 ※ストレスチェックの実施は原則年1回



2015年10月サービス開始予定!
OMSS+^{プラス} マイナンバー収集・保管サービス
リスクマネジメントと業務生産性の向上を実現する
OBCでは、個人番号の取得、保管の際に起こりうるリスクを低減するために、新たにサービスとして「マイナンバー収集・保管サービス」を提供します。OBCのマイナンバー対応システムは法令対応だけでなく、個人番号の取得・保管から利用・提供・廃棄まで、企業のリスクマネジメントと業務生産性まで考慮した対応を同時に実現できます。連動する奉行シリーズとあわせてご利用いただくことをご提案いたします。
▶詳しいサービス内容については7ページにて紹介しています。



2015年6月サービス開始予定!
OMSS+^{プラス} ストレスチェックサービス (仮称)
ITサービスを活用し、継続的に安心して利用できる
中小・中堅企業が手軽に・継続的に・安心して利用できるストレスチェックサービスです。ストレスチェック法制化に準拠し、ITサービスと運用ノウハウを合わせたスタンダードな運用方法を中小・中堅企業向けに提供します。環境構築の手間が要らないクラウドベースで、社員数に応じた導入しやすい価格帯でリリースを予定しています。
▶詳細は奉行クリック(www.obc.co.jp/)にて随時お知らせいたします。

マイナンバー制度の対応

マイナンバー制度の対応業務は単なる番号の記載ではなく、各プロセスに応じて様々なルールがあります。

2016年1月、社会保障・税の分野で個人番号(マイナンバー)と法人番号の利用が開始されます。この「マイナンバー制度」が始まると、人事・総務部門で対応業務が新たに必要となり、様々な負担が増えることが予想されます。

マイナンバーの付番・通知まで半年を切っていますが、多くの企業は「まだ情報を収集している段階」という状況です。とは言っても、そろそろ具体的な準備を始めなければならない時期に入ってきているのも実情です。マイナンバー制度の業務プロセスを見ながら対応業務と、それに伴う注意点を確認していきましょう。

①取得

マイナンバーの対応業務は、取得から始まります。正社員だけでなく、準社員、パート・アルバイトといった非正社員からもマイナンバーを収集します。また、扶養家族や報酬を支払う有識者・外部スタッフからの取得も必要となります。

◎懸念事項…マイナンバーが集まらない、マイナンバーの取得・確認漏れ、資料管理等の手間、個人番号漏えいリスクなど

②保管

マイナンバーを取得した後は保管作業が発生します。保管に際しては、マイナンバーの漏えいや不正利用に対するリスク管理、運用監視の体制を強化する必要があります。

◎懸念事項…保管に伴う番号の漏えいリスク、法令に則った保管が必要 など

③利用・提供・破棄

実際にマイナンバーを実務に使用する場合は、法令順守は絶対です。マイナンバーは特定個人情報にあたり、定められた利用の範囲を超えて使用してはならない決

まりがあり、守れなかった場合は罰則もあります。不要になったマイナンバーも漏れなく破棄しなければなりません。

◎懸念事項…利用範囲の制限、必要な書類への記載漏れ、廃棄漏れ など

④安全管理

マイナンバーの漏えい、滅失、毀損の防止など、適切な管理のために安全管理措置を講じる必要があります。

このようにマイナンバー制度の対応業務は、「番号を必要書類に記入するだけ」ではなく、「マイナンバーが特定個人情報であることを認識してしっかりと法令を守ること」、「業務プロセスを意識してミスや無駄が発生しないようにすること」が大切になってきます。OBCでは、マイナンバー制度に伴うリスクを低減し、業務を安全かつ正確・効率的に行えるように、奉行シリーズとサービスを提供いたします。

! 従業員全員とその扶養家族、さらに報酬を支払う個人から漏れなくミスなく確実に番号を収集しなければなりません。

! 単に番号を収集して該当書類に記載するだけでなく、法令に則って利用、保管、廃棄をしなければなりません。

マイナンバーの対応業務について「従業員から番号を教えてもらって、該当する書類に記入するだけじゃないの?」と考えていませんか。しかし、必要な番号を収集して照合するには膨大な労力と時間がかかり、さらにマイナンバーを取り扱うには、様々な決まりごとを守らなければなりません。対応業務は、下記の3つをクリアすることが求められます。

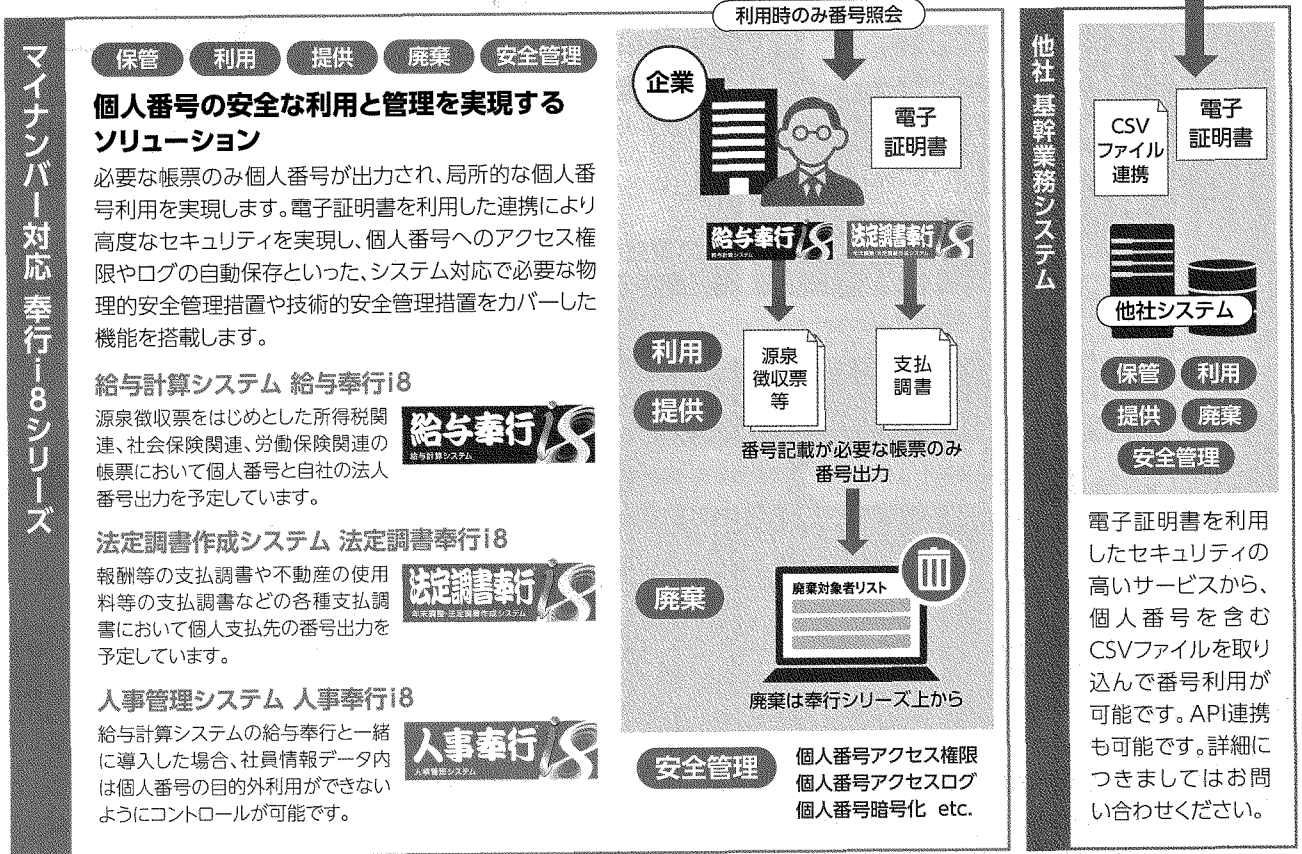
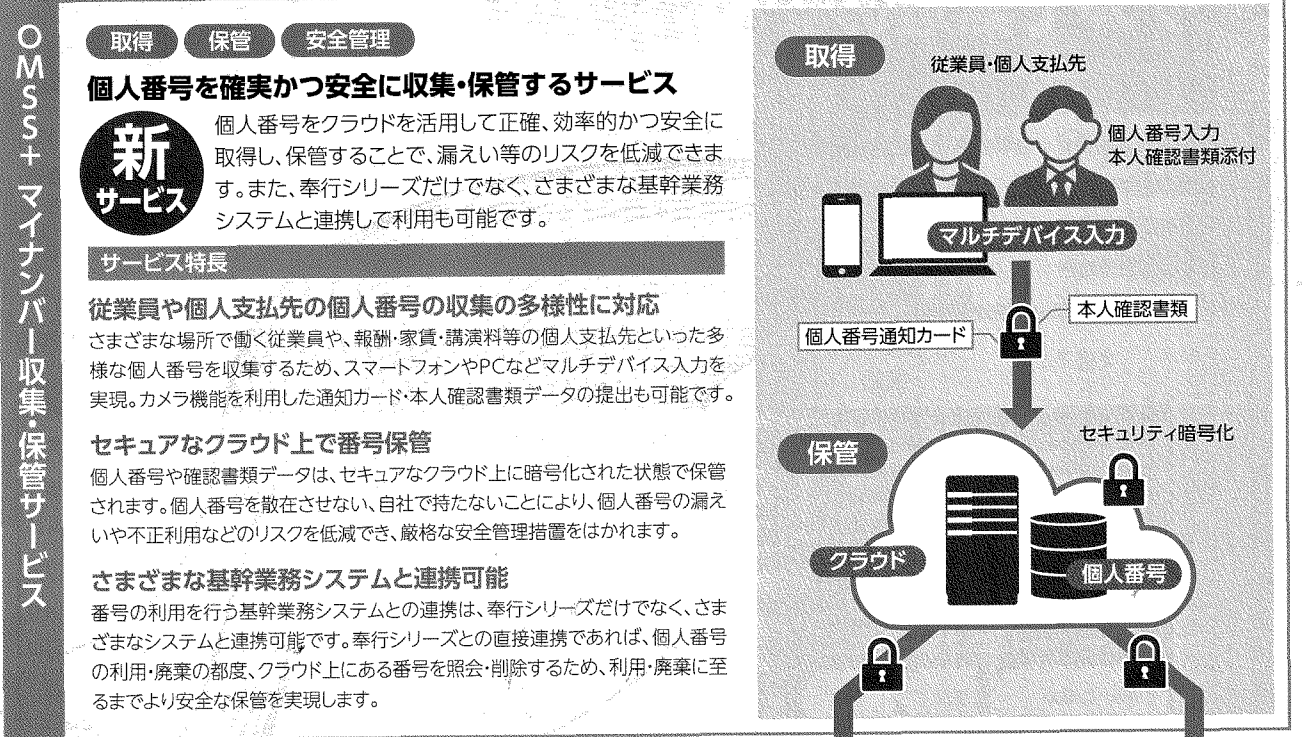


OBCのマイナンバー対応

<p>取得</p> <p>マイナンバーの取得と確認を無理なく無駄なく確実に</p> <ul style="list-style-type: none"> ●従業員はスマートフォンやパソコンを使ったマルチデバイス入力で番号を提出 ●場所と時間を問わずいつでもどこからでも提出が可能 ●収集作業の省力化や教育コストの削減が可能 ●クラウドで管理するため本人確認書類を拠点に残さず漏えいリスクを低減できる 	リスクを低減するにはシステム化が有効!
<p>保管</p> <p>自社内に番号を持たずセキュリティが確保されたクラウド上で保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保管場所の確保や設置、物理的なセキュリティ対策を準備する手間とコストが省ける ●拠点に番号を残さないで漏えいリスクが低い 	
<p>利用提供</p> <p>マイナンバーを局所的に利用し利用範囲をコントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーを記載する必要がある帳票のみ出力 ●システムに沿った運用で個人番号の利用が局所的に行える ●番号印字の有無を選択できる ●クラウド管理で安全に番号の呼び出しが可能 	
<p>破棄</p> <p>必要なくなったマイナンバーを速やかに廃棄して廃棄記録も残す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●忘れがちな廃棄業務を標準化して廃棄漏れを防止 ●必要な従業員情報は残して、必要なくなった部分だけを選択削除 ●番号廃棄記録が残し、高いセキュリティの確保できる。 	
<p>安全管理</p> <p>マイナンバーの安全管理のために適切な措置を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特定の担当者しかマイナンバーへアクセスできない ●外部からの不正アクセスを排除できるセキュアな環境である ●マイナンバーへのアクセスログを自動保存し、アクセスログの照会検索も容易に行える 	

すべての企業に提供するOBCマイナンバー対応モデル

OBCは、個人番号の取得、保管の際に起こりうるリスクを低減するために、新たなサービスとして「OMSS+ マイナンバー収集・保管サービス」を提供します。OBCのマイナンバー対応システムは法令対応だけでなく、個人番号の取得・保管から利用・提供・廃棄まで、企業のリスクマネジメントと業務生産性まで考慮した対応を同時に実現できます。



OBCのマイナンバー対応の全容がわかる! <http://www.obc.co.jp/my>